

令和8年度 小浜市立雲浜小学校 研究構想図

【学校教育目標】
たくましく 心豊かな 雲浜の子

めざす学校像

主体的に問題発見・解決に向かう子どもの育成に努め、変化の激しい社会を生き抜く人間づくりに取り組む学校

【めざす児童像】

あきらめずに挑戦する子
みんなでききあって考える子
ふるさとをすてきに伝える子

めざす教師像

未来を創る人材を育てることにやりがいと誇りを持ち、自己向上を目指す教師

【研究主題】

主体的に問題解決に取り組む子どもの育成

～個別探究とカンファレンスによる深い学びの実現～

【研究の概要】

今年度も「子ども一人一人の確かな学び・深い学びの実現」を最重要課題に掲げ、特に対話における「きく力」や「相手の考えを引き出す力」の育成に重点を置いた実践を展開する。

具体的には、「学びプランによる見通しをもった学習」「対話的な学び方の工夫」「授業における児童生徒の見取り」の3点を全校共通の柱とする。それらとリンクする形で、学級の実態や教職員個々の問題意識に基づいた個別課題を設定し、主体的・探究的な授業実践に取り組んでいく。

さらに、実践後のアウトプットを通じて多様な価値観を交流し、互いの実践を省察することで授業改善を推進する。このプロセスを通じ、我々自身も「主体的・対話的で深い学び」を通して教師としての資質・能力の向上に努めていく。

小浜の未来を担う
総合教育事業

地域の魅力発見や
問題解決を行う

- ・生活科
- ・総合的な学習の時間
- ・校外学習における探究の過程（課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現）

全校共通の取り組みを通して、系統的に「きく力」を育成し、対話的な学びの土台となる力を養う。

教職員が自らの課題意識や専門性に基づき個別の課題を設定し、主体的かつ探究的に授業実践に取り組む。

教職員どうしがお互いの実践についてアウトプットすることを通して、多様な価値観や意見を交流し、自身の実践を見つめ直す。

対話的な学びの充実

個別探究

教職員間カンファレンス

対話的な学びの充実を軸に、深い学びの実現を目指す

【これまでの研究】

① 児童（ひとり調べ）

- ◇関心：体験学習の体系化(H23)
- ◇意欲：異学年交流による自己有用感(H24)
- ◇態度：雲浜スタンダード(H21～26)
- ◇方法：一人調べの系統化(H30,31)

② 学級（みんな調べ）

- ◇方法：問題解決学習の確認(H25)
- ◇方法：考えの練り合い(H24～26)
- 対話的学びの基礎(H29,R7)
- 思考ツール(R4,R5)

主体的な学び

① 教師（授業力）

- ◇単元：単元構想の工夫(H27,28,R7)
- ◇目標：課題の焦点化(H21～23、H30)
- つけたい力の明確化(H30,31,R2～4)
- 中心課題の吟味(H31)

◇授業D X(R6)

② 家庭（家庭学習）

- ◇学習習慣：自主学習

③ その他の支援

- ◇振り返りによる学習評価(H28,29,R2,R5)
- ◇ICTの活用(R3,R6)